

北西太平洋サンマ中短期漁況予報

- 分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験 -

1. 今後の見通し

予測期間: 2002年10月中旬から11月下旬まで

対象海域: 道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業: さんま棒受網漁業

対象魚群: 南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量: 来遊量は10月中・下旬には前年を上回る中位の水準となる。11月上旬に減少傾向となり、11月中旬以降は逸散のため極めて低位の水準となる。

(2) 漁場: 主漁場は10月中旬以降襟裳岬沖合の潮境周辺に形成される。11月中旬以降の漁場形成は散発的となる。

2) 三陸海域

(1) 来遊量: 来遊量は10月中旬に増加傾向で推移し、10月下旬以降中位の水準で推移する。11月中旬には減少傾向となり、11月下旬は低位の水準で推移する。

(2) 漁場: 漁場は、10月中は南北に分散して形成され、11月上旬以降は南部の海域に偏る傾向となる。

3) 常磐海域

(1) 来遊量: 10月中・下旬には低水準ながら来遊があり、11月上旬に増加傾向で推移する。11月中旬には増減傾向となるが、下旬には中位の水準で推移する。

(2) 漁場: 常磐南部から鹿島灘の海域に漁場が出現し、後続群が順次加わり、前年とは異なり比較的長期にわたり犬吠周辺に漁場が形成される。

2. 予測の概要

海 域		10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬
道東海域	来遊量					
	動向	中位水準	中位水準	中位減少	断続的	
	漁 場	襟裳岬沖合	襟裳岬沖合	襟裳岬沖合	散発的	
三陸海域	来遊量					
	動向	低位増加	中位水準	中位水準	中位減少	低位水準
	漁 場	北部～南部	北部～南部	南部	南部	南部
常磐海域	来遊量					
	動向	低位水準	低位水準	低位増加	減増的	中位水準
	漁 場	常磐～鹿島灘	常磐～鹿島灘	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺

3. 漁況の経過概要

(9月下旬)

1) 道東海域

- (1) 来遊量 9月下旬は、来遊群の集中的な持続がみられず、来遊量水準は1998～1999年を上回ったものの、前年2001年を大きく下回った。
- (2) 漁場 9月下旬前半は、落石～厚岸の南方20～50海里の親潮第1分枝の冷水の差込部分と、襟裳岬の南から東南東方の20～80海里の親潮第1分枝の先端付近の顕著な潮境周辺に主漁場が形成された。後半は、厚岸南30海里付近から襟裳岬南南東30海里付近にかけて形成されたが、好漁場の位置は日によって変化した。
- (3) 魚体 魚体組成は、9月23～26日の落石～厚岸沖では大型魚・中型魚・小型魚の割合が3・4・3～2・4・4と群れによって多様な構成となっていた。襟裳岬沖では大型魚・中型魚・小型魚の割合が3・3・4の群れが主体をなし、中には4・4・2の群れもあった。28～30日には、落石～厚岸南沖の漁場では後続群の加入によって大型魚の割合がやや増加する傾向が認められ、襟裳岬沖では小型魚の割合が多くなる傾向にあった。

2) 三陸海域

- (1) 来遊量 棒受網漁業の操業対象となる魚群の来遊はなかった。
- (2) 漁場 9月下旬には漁場は形成されなかった。